

なぜJAを  
目指すのか？



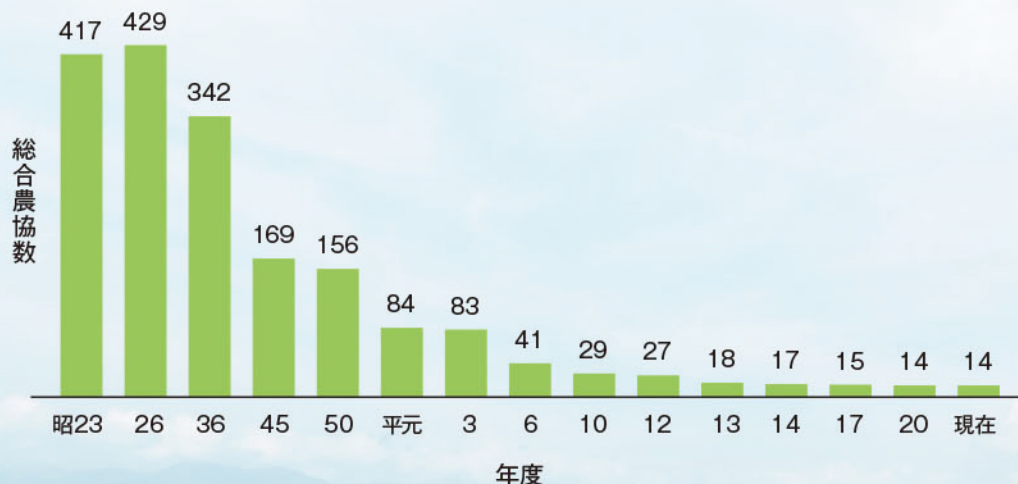


## はじめに

私たち、JAグループ熊本は、県下一个のJAを目指し検討を進めています。  
JAは、零細な農家が、自らの「営農とくらし」を支える協同の組織として設立したものです。  
戦後の混乱の中、昭和22年に農協法が施行され、本県においても昭和23年に  
417の農協が誕生し、協同の力のもと組合員・農家を支えてきました。

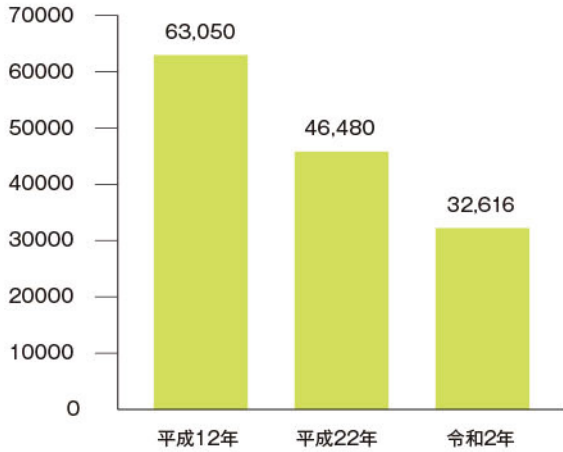
以来72年間、本県JAグループは、幾多の試練と困難に遭遇しながらも、  
その時代の情勢に応じ、先人たちの勇気と決断により、経営改善や「JA合併」を行いながら、  
現在まで、組合員の「営農とくらし」を支え続けてきたのです。  
21世紀となった現在、農業・農村・JAを取り巻く環境は、  
「農業者の減少や高齢化」「輸入農畜産物の増大」「規制緩和や農協改革」  
「金融情勢の悪化」「頻発する大規模災害」等かつて経験したことのない、  
新たな事態に直面しており、農業・農村の危機がなお一層進行しようとしています。

このような中であって、将来にわたり組合員の「営農とくらし」を支え続け、  
私たちJAグループの基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」  
「地域の活性化」を確実に実現していくためには、県下JA・連合会・中央会が一丸となって、  
「オール熊本」としての取り組みを進める必要があります。  
それが、県域JA構想であり、「JAくまもと」の誕生であります。  
全国トップクラスの農業県JAとして、しっかりと農業や地域に軸足を置き、  
10年後、そしてその先の未来においても、組合員の「営農とくらし」を支え、  
熊本の農業や農村を確実に次世代に繋いでいくJAを目指し、  
協議を進めてまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



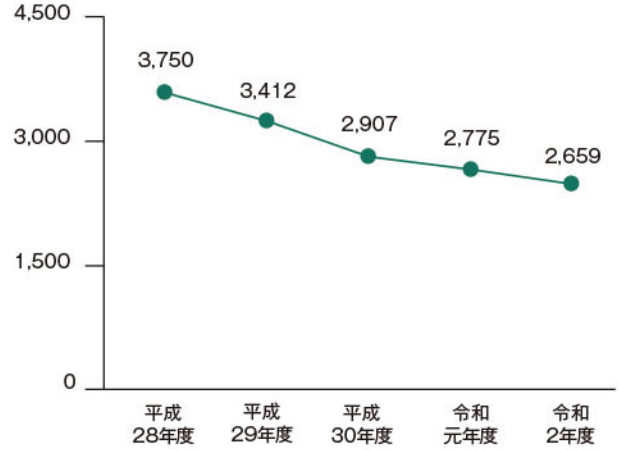
販売農家数が減少し生産力の低下が懸念されます

### 熊本県の販売農家数の推移 (単位:戸)



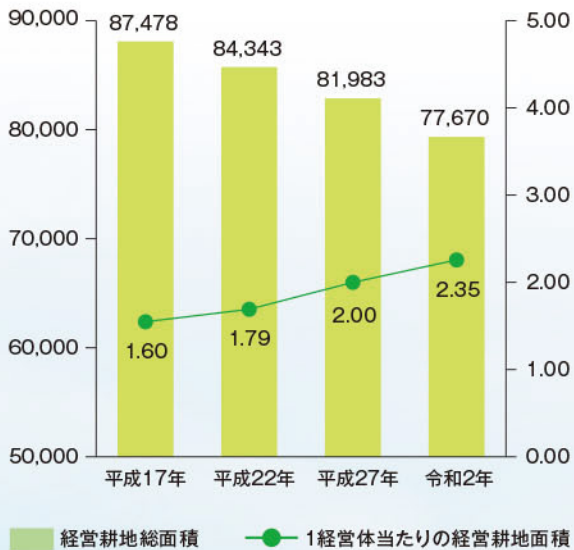
将来的な事業利益の確保への対策が求められています

### 県下JAの事業利益の推移 (単位:百万円)



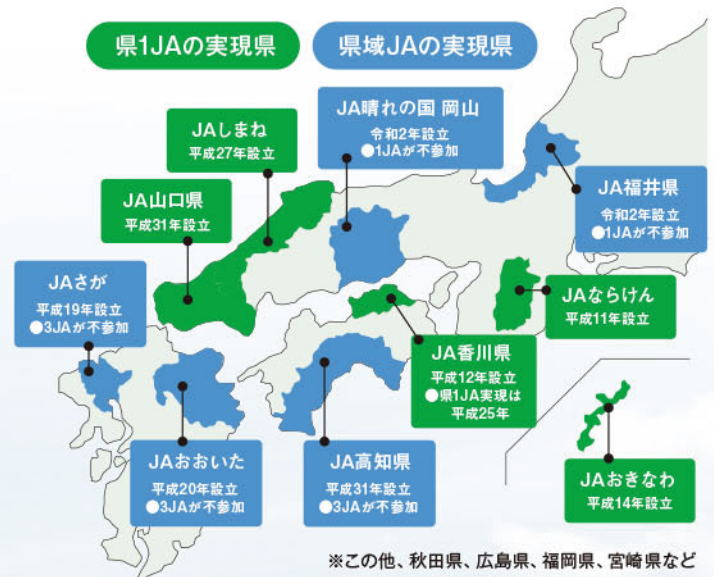
大規模経営化へのJAの対応が求められています

### 熊本県の経営耕地総面積と、1経営体当たりの面積の推移 (単位:ha)



全国で県域JA化の動きが加速しています

### 他地域における県域合併等の動向





# JAくまものめざす姿

県1JA「JAくまもと」が誕生すると、  
「正組合員数」「販売品販売高」  
「購買品供給高」が全国トップクラスの  
農業県JAとなります。



## 全国トップクラスの JAとなります。

正組合員数 / 85,463人

全国 1位

組合員数 / 159,157人 全国3位 准組合員 / 73,694人 全国7位

販売品販売高 / 1,545億円

全国 1位

購買品供給高 / 916億円

全国 1位

うち生産資材 / 749億円 全国1位 うち生活物資 / 165億円 全国4位

貯金  
1兆1,577億円 全国11位

貸出金  
3,196億円 全国6位

長期共済保有高  
4兆2,905億円 全国2位

※「数値」は、令和2年3月末時点での県下14JAの合算値

※「全国での順位」は、県計と全国総合JAとの比較による

# JAくまもとのめざす姿

## 農業・組合員

スケールメリットを最大限に活かして  
「農業所得向上」を実現するJA

持続的な熊本県農業の維持・拡大に貢献するJA

組合員対応力の強化を実現し  
組合員に寄り添う身近なJA

組合員の「声」を重視し、  
組合員満足度の向上に取り組むJA

## 地域 社会

安全・安心な農畜産物を届け続けるJA

自然環境の保全・維持に  
積極的に貢献するJA

豊かでくらしやすい地域社会へ貢献するJA

組合員・地域にとって  
なくてはならないJA

## JA 経営

県域JAとしての組織力と  
地域特性を活かしたJA

盤石な経営基盤により  
次世代の農業者を支え続けるJA

組合員・地域社会に  
信頼されるJA

JAくまもとは、そのスケールメリットを最大限に発揮し、

私たちの普遍的な目標である

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の  
実現を目指すとともに、10年後、そしてその先の未来においても、  
組合員の「営農とくらし」を支え続ける組織を目指します。



# 農家・組合員の期待にお応えします。



営農指導員がなかなか来てくれんなあ。  
病気や害虫の相談を急いで  
したいんだけど。

## 営農指導事業

14JAがそれぞれ培ってきた営農に関する知識・ノウハウの共有によって、「より充実した技術指導や情報提供」など、皆様のニーズに応じた支援が可能になります。また、要員や体制が充実するので、今まで以上に「出向く営農指導」が実現できます。さらに、タブレットなどを用いたデータの活用や情報の提供により、皆様の営農に貢献します。



丹精込めて作った農畜産物が  
もう少し高く売れたらなあ。

## 販売事業

これまでは、14JAそれぞれで農畜産物を市場に出荷していましたが、合併によりロットをまとめることで、市場に対して有利で安定的な出荷が可能になります。また、市場や取引先のニーズに沿った出荷を行うことにより、「より安定的に」「より高く」有利に販売することが可能になりますので、皆様の所得の向上に繋がります。





肥料も農薬も随分高くなったなあ。  
これが安くなると助かるんだが。

### 購買事業

合併により、大規模ロットによる有利な仕入れができますので、皆様の生産コストの低減に繋がります。また、「ネットを通じた購買品の発注」など、より便利に購買品を購入いただけるように検討を進めていきます。



もっとうちの地域が  
元気になる取組みはないかなあ。

### くらしの活動・生活福祉事業

これからも皆様と地域に寄り添ったJAであり続けるため、「組合員組織の活性化」や「必要なサービスの提供」に引き続き取り組んでいきます。



資産形成や共済の相談をしたいけど、  
農繁期で時間がないなあ。

### 信用・共済事業

合併によるシステム化や重複業務の集約により、出向く体制が構築できますので、皆様のニーズに応じた提案・対応が可能になります。



# 熊本農業の 明るい未来に向けて

## 今後のスケジュール(予定)

令和3年12月：第27回JA熊本県大会において  
「JAくまもと」の基本的項目を決議

令和5年 4月：「合併総(代)会」の開催  
※合併には、議決権の3分の2以上の賛成が必要です。

令和6年 4月：「JAくまもと」発足

ご意見・  
ご質問は  
コチラ▶



**JA熊本中央会 県域戦略対策部**

TEL:096-328-1034 FAX:096-311-2023

URL:<https://www.ja-kumamoto.or.jp/concept/>